

## 2020年夏、二子玉川ライズを“旅”して、家族の特別な思い出に

絵本作家・荒井良二さんpresents  
夏休み企画「ライスじゃあにい」

ちょっと視点を変えるだけで面白い発見・出会いがある。おうちで・ライスで楽しむ“発想”のジャーニー  
2020年8月7日（金）～31日（月）開催

「二子玉川ライズ」では、2020年8月7日（金）から31日（月）の期間、二子玉川ライズを“旅”して、家族の特別な思い出にさせていただき夏休み企画「ライスじゃあにい」を開催します。



家族との夏の思い出は、親子にとって特別。  
安心して楽しめるコンテンツを提供し、家族で2020年夏の思い出を。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のお祭りや花火大会などのイベント中止が相次ぎ、夏の思い出づくりの場が失われようとしています。

二子玉川ライズでは毎年、夏休みの大型イベントを開催しており、お客さまの夏の思い出づくりのお手伝いをしてまいりました。

本年においては、このような状況だからこそ、これまでとは違ったアプローチで、夏の思い出づくりのお手伝いをしたい、地域の皆さまが楽しめるコンテンツを提供したいと考え、この度の「ライスじゃあにい」を企画しました。

「ライスじゃあにい」では、「都心にありながらオープンエアの自然豊かな開放感あふれる施設」という二子玉川ライズの施設特長を最大限活かし、おうちでも、ライスでも、ご家族で楽しんでいただける様々な企画をご用意しています。

テーマは“旅（じゃあにい）”。いつもの街が、視点を変えるだけで発見に満ちた旅になる。

「ライスじゃあにい」は、絵本作家の荒井良二さんプロデュースによる「ライスじゃあにいブック（夏のらくがき帳）」と、実際に二子玉川ライズ内に設けられた様々な仕掛けが連動することで、『“おうちでも”、“ライスでも”楽しめる』を追求した、新発想の企画です。

「ライスじゃあにいブック」は、荒井良二さんによる独特のタッチで、二子玉川ライズを再発見するための“道標”となるような内容になっており、絵を描いたり、シールを貼ったり、子どもたちが自由な発想で遊ぶことができます。二子玉川ライズ館内で無料配布（なくなり次第終了）するほか、地域の保育園／幼稚園にも配布する予定です。「ライスじゃあにいブック」のデータはHPからダウンロードいただけます（8月7日以降）。

また、施設内には、「ライスじゃあにいブック」と連動した多彩な仕掛けを、植栽の中や、階段の裏側など、普段は目を留めないような様々な場所に分散して施しており、来館いただいたお客さまが、目で見、耳で聞いて、それぞれの発見を楽しみながら、ライズを「旅」していただける企画となっています。

さらに、荒井良二さんによるオンラインワークショップも開催予定で、おうちでもお楽しみいただける内容となっています。

<本件に関するお問い合わせ先>

「二子玉川ライズ」PR事務局（共同PR内） 担当：内村・辻・長尾

TEL：03-3571-5193 / FAX：03-3571-5360 / mail：rise-pr@kyodo-pr.co.jp

## 「ライズじゃあにい」開催概要

イベント名：「ライズじゃあにい」  
 期間：2020年8月7日（金）～8月31日（月）  
 場所：二子玉川ライズ  
 住所：東京都 世田谷区 玉川2-21-1  
 主催：二子玉川ライズ  
 「ライズじゃあにい」特設サイト：[http://sc.rise.sc/pages/rise\\_journey2020](http://sc.rise.sc/pages/rise_journey2020) ※8月7日（金）公開予定

ライズじゃあにい特設サイト



### 絵本作家・荒井良二さんコメント

#### ライズという一番身近な日常の場所で、家族の夏の思い出を作りたい

何も荷物を持たずに玄関のドアをあけたら「旅のはじまり」。ふだん気づかない小さな発見を楽しむのがぼくの「じゃあにい」です。

「小さな気づき」を見つけたら、ぼくだったらこう考える、わたしだったらこう！というふうに思っていたことやアイデアを描き込んで「自分だけの夏のらくがき帳」を作ってほしいなと思い、「ライズじゃあにいブック」を制作しました。

ふだんは気にもとめずに通りすぎる場所に小さな変化を見つけるのもまた「旅のはじまり」。思いもよらない発見に「むかし」や「今」や「未来」を考える「きっかけ」があるかもしれません。さあ、いっしょにじゃあにいしましょう！ Let's じゃあにい！



Photo by 有村蓮

#### 荒井良二（あらいりょうじ）

1956年山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったので まどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるいつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年には日本人として初めてアストリッド・リンドグリーン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。また、NHK連続テレビ小説「純と愛」のオープニングイラストを担当。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ビエンナーレ」の芸術監督を務めるなど、その活動の幅を広げている。最新作に「子どもたちはまわっている」（亜紀書房）

## 楽しみ方はいろいろ！「ライズじゃあにい」のイベント構成

### 「ライズじゃあにいブック」をゲット！

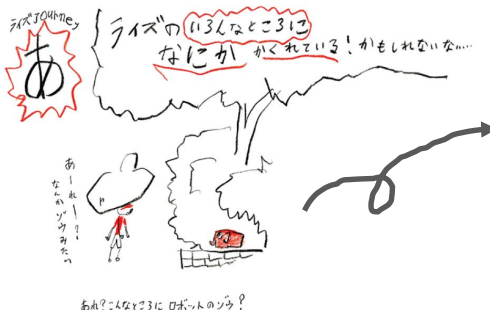


絵本作家の荒井良二さん描きおろしの「ライズじゃあにいブック」は、二子玉川ライズの屋外に散りばめられた仕掛けを探検したり、自分だけの発見をするためのヒントが詰まった“夏のらくがき帳”になっています。二子玉川ライズ館内で無料配布（なくなり次第終了）するほか、HPからもダウンロード可能です。

### 「ライズじゃあにいブック」を「おうちで楽しむ」

絵を描いたり、シールを貼ったり、子どもたちが自由に遊ぶらくがき帳のような仕様となっている「ライズじゃあにいブック」。オンラインでは、荒井良二さんが講師をつとめる「ライズじゃあにいワークショップ」も開催予定！ヒラメキ・ドキドキが生まれるワークショップをおうちから楽しめます。ひらめくままにどんどん描こう！

### 「ライズじゃあにいブック」を「ライズで楽しむ」



※イメージ



五感で感じる仕掛けを屋外に散りばめ、親子で歩いて楽しめる空間となったこの夏の二子玉川ライズ。ぼんやり眺めていると、何か違う形に見えてきたり、耳を澄ますと、いつもは気づかなかった音が聞こえてきたり。荒井良二さんからのヒントが詰まったらくがき帳をお供に探検して、聞こえてきた音や見つけたものをどどんらくがき帳に描いていこう！